

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（課長等）	30年 9月 30日
2次評価日（部長等）	30年 10月 1日

# 施策評価表

## 1 施策の概要

施策名	子育て支援の充実	コード	5-1
この施策の主な内容（細施策）	(1) 地域と共に支える子育ての推進 (2) 子育て支援サービスの充実 (3) 子どもの育成支援 (4) 婚活に対する支援		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児と就労の両立を図る</li> <li>・ 安心して子どもを生み育てることができるまちづくりを展開する</li> <li>・ 幼稚園、保育園、小学校と連携を深め、幼児教育の充実を図る</li> </ul>		
担当部課	部 健康福祉部	課等 子ども課	作成者 両角 秀孝

## ●施策の実施内容 (D0)

### 2 施策指標の達成状況

\* 第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：30年度）

施策指標名	単位	27年度	28年度	29年度			30年度	31年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 地域子育て支援センターの延べ利用者数	人	6,503	5,507	7,500	5,385	71.8%	7,500	
指標説明	保育園併設の子育て支援センター（あやめ・川岸・みなと）の利用者数。地域で子育てをしている親の負担感などの軽減を図るため、相談や情報提供に努めるもの。							
② 子育て支援館の延べ利用者数	人	44,550	36,389	41,000	34,536	84.2%	41,000	
指標説明	子育て支援館（こどものくに）の利用者数。子どもへの遊びの提供のほか、親同士の交流を促して、子育てに関する相談や情報提供に努めるもの。							
③						-		
指標説明								

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）
直接事業費	1,452,096	1,682,928	1,692,367	1,635,535
人件費	709,200	710,400	710,400	662,400
合計コスト	2,161,296	2,393,328	2,402,767	2,297,935

## ●施策の評価 (CHECK)

### 4 施策の現状評価

\* 29年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

少子化に伴い、総体的な児童数が減少している中で、子育て世代の生活環境や働き方の変化などを受け、多様なニーズに合わせた子育て支援及び保育サービスの提供が求められている。平成27年度からスタートした子ども・子育て支援新制度のもと、子どもや子育て世帯への様々な支援の充実が図られてきた中で、平成29年度は概ね順調に事業を推進することができた。児童数の減少などの環境の変化に伴い、目標とする施策指標には至っていないが、子育て環境全体で子ども・子育て支援策の充実を図っているため、施策満足度は概ね良好と判断している。

\* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	最寄の施設で子育てサービスを受けやすいコンパクトな市域環境 地区のバランスを考慮したサービス提供のしやすさ
岡谷市の弱み	児童数の減少及び地域間の児童の偏り

### 5 今後の外部環境の変化

\* 30年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	平成27年度から子ども・子育て支援新制度がスタートし、国を挙げて子育て支援サービスの充実が図られている。
不利に働くもの	子育て支援に関わる国の施策が拡充基調にある中で、施策に見合う財源手当てが十分ではなく、サービスの充実に応じて、地方の財政負担が増加する。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成31年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

\* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \* 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	子育て環境において重要な役割を担う保育園整備事業については、平成24年度に策定した岡谷市保育園整備計画に基づく施設整備に取り組んでおり、早期に保育環境の充実を図ることができるよう、計画的に事業を推進する。また、発達支援の充実に向けて、通園訓練施設まゆみ園を軸に事業展開を図る。
見直しを行う分野	厳しい財政状況の中でも各種子育て支援施策を展開するため、第3次児童育成計画に基づき、全庁的な取り組みにより必要な事業の選択と集中を図り、より効果的な施策を推進する。また、発達支援の充実を図るため、新西堀保育園整備に合わせて併設する発達支援施設への円滑な移行を図るため、まゆみ園での運営を重ねながら、運営体制等の見直しを進める。

●31年度の優先度

\* 方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標				妥当性	方向性	優先度
							27年度	28年度	29年度	30年度			
1	一般	あり	地域子育て事業	育児ファミリーサポートセンターの延べ利用回数	回	190	26,285	15,600	高い	継続して実施	B：現状維持		
						311	14,439	9,600					
						112	14,147	9,600					
						100	17,692	9,600					
2	公共施設	あり	子育て支援館管理事業	年間利用件数	件	18,372	16,053	1,200	標準	継続して実施	B：現状維持		
						15,169	13,230	8,000					
						14,441	13,518	8,000					
						15,000	15,603	8,000					
3	公共施設	あり	通園訓練施設まゆみ園管理事業	年間利用者数	人	1,478	10,334	800	標準	継続して実施	B：現状維持		
						907	6,835	2,000					
						641	7,347	2,000					
						1,000	7,779	2,000					
4	一般	あり	保育園管理事業	保育日数	日	294	589,468	682,400	高い	継続して実施	B：現状維持		
						293	613,594	674,400					
						293	634,085	674,400					
						292	700,204	626,400					
5	建設	なし	保育園園舎等整備事業	進捗率	%	24.1	0	4,000	-	継続して実施	B：現状維持		
						39.4	238,946	4,000					
						55.5	249,844	4,000					
						-	61,366	4,000					
6	内部	あり	児童手当給付事業	-	-	-	809,956	5,200	-	継続して実施	B：現状維持		
						-	789,162	5,200					
						-	767,136	5,200					
						-	826,311	5,200					
7	一般	あり	発達支援事業	フォローアップ教室開催日数	日	233	6,722	7,200	標準	継続して実施	B：現状維持		
						284	6,290	7,200					
						250	6,580	7,200					
8													
9													
10													